

かねがさき 社福だより

2016年 第223号

平成28年12月15日発行

主な内容

P2~7 第42回金ヶ崎町社会福祉
大会について

P8 ワークステーション食堂メニュー
会長のつぶやきetc・・・

災害ボランティアバス支援活動

金ヶ崎町社会福祉協議会ボランティアセンターでは、先の台風10号により甚大な被害を受けた岩泉町へのボランティアバスを運行しました。

9月25日、10月9日、11月3日の計3回行われた活動は、岩泉町小川地区を支援場所とし、住宅の泥出しや家屋の撤去作業を行いました。

被災地の1日も早い復興を願い、以前の普段の生活に戻れるようにと汗を流しました。ボランティアとして参加いただいた皆さん、ありがとうございました。



社会福祉法人金ヶ崎町社会福祉協議会
イメージキャラクター カねがさき

◆◆◆◆ 第42回金ヶ崎町社会福祉大会開催 ◆◆◆◆

11月17日(木)、町中央生涯教育センターを会場に、地域福祉関係者や町民300名が一堂に会し、第42回金ヶ崎町社会福祉大会を開催しました。

オープニングアトラクションでは、南方幼稚園年長児による『よさこいソーランロック』が披露され、子どもたちの元気な掛け声が会場に響き渡りました。

式典では、社会福祉事業やボランティア活動、在宅介護者等に功労があった16名、3団体と、福祉作文入賞者9名の方々の表彰が行われ、そのあとの大会宣言では、地域福祉の更なる充実に向けた啓発を図り、「お互いさま」の意識に基づいた福祉のまちづくりの発展を誓いました。

第2部の記念講演では、「持続可能な地域社会を作るために」と題し、岩手県社会福祉協議会会長山洋氏による講演をいただきました。



金ヶ崎町社会福祉大会長表彰

●社会福祉事業功労者 10名

【多年にわたり、社会福祉の増進に寄与し、社会福祉事業の推進に貢献した方】



あお き しゅん えつ
青木 俊悦 様
(共伸会理事・前園長)



いえ こ ひろ こ
家子 博子 様
(金ヶ崎保育園保育士)



おおまつ ざわ せい いち
大松沢 靖一 様
(民生委員・児童委員)



ち ば ゆき え
千葉 由希恵 様
(共伸会共同生活援助事業所
ピア・タウン管理者)



たか はし ゆき や
高橋 幸也 様
(友愛園デイサービスセンター所長補佐)



おい かわ いく こ
及川 育子 様
(金ヶ崎学童保育所児童支援員)



い どう れい こ
伊藤 冷子 様
(金ヶ崎町身体障害者福祉協会監事)



ち ば まゆ み
千葉 眞由美 様
(金ヶ崎町社会福祉協議会
訪問入浴看護職員)



たか はし まみ こ
高橋 真実子 様
(たんぽぽ保育園保育士)



ご どう しゅう こ
後藤 秀子 様
(金ヶ崎町社会福祉協議会
訪問介護職員)

●社会福祉(ボランティア)功労者 2名

【多年にわたり、奉仕活動に取り組み、社会福祉に貢献した方】



たち ばな くに お
立花 邦夫 様
(地域ボランティア活動(一の台地区))



ほり うち ひで こ
堀内 秀子 様
(金ヶ崎町社会福祉協議会
調理ボランティア)

●共同募金運動功労団体 1団体

【多年にわたり、共同募金運動に貢献した団体】



株式会社デンソー岩手様
(共同募金運動)
代表取締役 伊藤秀一 様

第69回岩手県社会福祉大会長表彰受賞

8月26日、盛岡市民文化ホール(マリオス)を会場に、第69回岩手県社会福祉大会が開催され、以下の方々が受賞されました。

●社会奉仕功労者

【多年にわたり社会奉仕活動を行い、その功績が顕著な個人または団体】



たか はし しげ き
高橋 重貴 様
(金ヶ崎町スノーバスターズ会長)

●褒賞(在宅介護者)



たか はし りき こ
高橋 力子 様
(上永徳寺行政区)



みや だて みれこ
宮舘 美礼子 様
(高谷野原行政区)



あ べ こ
阿部 ヤエ子 様
(上永沢第一行政区)

●褒賞(在宅介護者)

【多年にわたり、在宅要介護者の介護に携わってきた方】



たか はし せつ こ
高橋 節子 様
(上永徳寺行政区)



つた ゆき こ
蔦 ユキ子 様
(川目行政区)



かわ ぐち しゅう こ
川口 祝子 様
(川目行政区)

●感謝状 1団体



さき おう かい
崎 奥 会 様
(福祉基金寄付)
代表受領 小野寺勝子 様

中央共同募金会長感謝状の伝達 1団体



トヨタ自動車東日本
労働組合 様
(寄付)
代表受領 福祉部長 杉山 剛 様

岩手県共同募金会長感謝状の伝達 1名



さ どう せつ お
佐藤 節夫 様
(主唱歳末たすけあい募金寄付)



佐藤 嘉子さん 厚生労働大臣表彰受賞

この度、永年のボランティア活動の功績が認められ、佐藤嘉子さんが厚生労働大臣表彰を受賞されました。

佐藤さんは平成5年より社会福祉協議会の調理サービスボランティアを始めたことをきっかけに、ふれあいレターサービス宛

名書きボランティアやクリーン作戦、また、被災地支援での炊き出しボランティアにも参加いただきました。

現在も調理サービスをはじめとするボランティアに積極的に活動し、社会福祉協議会の地域福祉事業を盛り立てていただいております。

佐藤嘉子さん、大変おめでとうございます。

福祉作文

●小学校低学年の部



*最優秀作品

おせわになっているしげみさん

ちばあまね 千葉雫音さん (三ヶ尻小学校1年)



*優秀作品

こころのやさしいおばあちゃん

すずきりん 鈴木凜さん (第一小学校2年)



*審査員特別賞

わたしのおじいちゃんとおばあちゃん

さかさきふうか 榊楓華さん (西小学校2年)

●小学校中学年の部



*最優秀作品

ユニバーサルデザイン

たかはしあい 高橋愛さん (第一小学校4年)



*優秀作品

ハウスクリーニングプロジェクト

おざわりみ 小澤りみさん (西小学校4年)



*審査員特別賞

人の役に立つ人に

おだしままいか 小田島舞香さん (金ヶ崎小学校4年)

●小学校高学年の部



*最優秀作品

人の心と心をつなぐあいさつ

いしもたつづみ 石母田鼓実さん (第一小学校6年)



*優秀作品

私にできること

あさくらかな 朝倉花香さん (永岡小学校6年)



*審査員特別賞

ひいおばあちゃん長生きしてね

はたけやまじゅの 畠山珠愛さん (西小学校6年)

* 福祉作文最優秀作品 *

小学校低学年の部

おせわになっているしげみさん

金ヶ崎町立三ヶ尻小学校1年

ちばあまね 千葉雫音



三ヶじり小がっこうのとなりには、しげみさんというおじいさんがすんでいます。しげみさんには、ようちえんの時からおせわになっています。ようちえんには、きのみやはなをもってきてくれました。

小がっこうでは、「おはなしのかい」でおはなしをしてくれます。いつもたのしみになっています。八まんたいのおさつのはなしをしてくれたときは、じぶんでかいたさくらやおしろのえをみせながら、はなししてくれました。とてもじょうずなえで、すごいなとおもいました。たなばたのときは、おりひめとひこぼしのおはなしをしてくれました。これもおもしろかったです。しげみさんは、なにもみないでいろんなおはなしをしてくれます。きっと、あたまのなかに小さいころからかんがえてきたことがたくさんつまっていて、すこしずつわたしたちにわけてくれているんだとおもいました。

しげみさんにありがとうをつたえたくて、1ねんせいでけいろうのひのおてがみをかきました。おれいにしげみさんからきれいなしきしがとどきました。それには、せんそうのときのことがかいてありました。きょうかしよはしんぶんのようなかみだったそうです。

「せんそうのないたのしいよのなかをつくるために、みんなとなかよくべんきょうしましょうね。」

とかいてありました。わたしは、これからも一しょうけんめいべんきょうをがんばりたいです。しげみさんのおうちのまわりには、いろんなやさいやきれいなおはながうえられていて、げんきにおしごとをしているなとおもいます。こんどみかけたら、大きなこえで、「おはながげんきにそだっていますね。」

とこえをかけたいです。しげみさんは、83さいだとききました。わたしたちにとってだいじなおじいさんなので、もっとながいきしておはなしをいっぱいきかせてほしいです。

ユニバーサルデザイン

金ケ崎町立第一小学校 4年

たか はし あい
高 橋 愛



第一小学校では、四年生になると、福祉をテーマとした「ボランティアスクール」という学習をしています。白じょう体験や車いす体験、点字を打つ体験などをしました。

9月の遠足では、盛岡のアイーナに行きました。アイーナでは、ユニバーサルデザインの話の聞いたり、施設の工夫について実際に見せてもらったりしました。

アイーナでは、階段やろうかの手すりが高い位置と低い位置に二段につけてありました。これは、小さい子どもや車いすの人も利用しやすい工夫だそうです。また、水飲みも高い位置と低い位置についていました。中でもわたしが一番おどろいたのは、多機能トイレにもいろいろな種類があったことです。どのトイレもきれいで、広く使いやすい感じがしました。ユニバーサルデザインは、だれにでも使いやすいようにした工夫だということがよく分かったし、ふだん気にしていないけれど、身近なところにたくさんあることが分かりました。そこでわたしは、家に帰ってから、自分の家の中にもユニバーサルデザインのようなものがあるか探してみることになりました。

見てみると、たくさんのユニバーサルデザインを見つけることができました。せんとく機のボタンの下には、点字がつけてありました。部屋の照明のスイッチには、つく方に小さな出っばりがついていました。また、同じようなものはパソコンのキーボードにもありました。キーボードの「は」と「ま」と「数字の五」には、さわって分かる出っばりがついていました。さらに、電話の番号、テレビのリモコンにも、「数字の五」には出っばりがつけてあります。

そして意外なことに、お風呂の中でもたくさん見つけることができました。わたしの家のお風呂の湯船には、あさい場所と深い場所があります。これは、この家を建てたとき、わたしがまだ三さいだったので、小さいわたしでも湯船の中にすわって入れるように、このような湯船をえらんだのだそうです。もっとよく見ると、あさい方は、湯船のはばもせまくなっていました。小さい子に丁度いい大きさになっていると思いました。他にも、シャワーの高さを自由に変えられたり、かべには手すりがつけられていたり、お湯を入れるスイッチに点字がつけられていたりしていました。

「ユニバーサルデザイン」とは、文化や言葉、国、男女、年齢などのちがいに問わず、みんなが利用できるしせつやせい品のデザインのことだそうです。こうして見ると、身の回りにはたくさんのユニバーサルデザインがあることが分かりました。これは、だれかが、それを使うだれかのことを考えた優しい気持ちが形になったものなのではないかと思いました。そして、ものだけではなく、わたしたち一人一人の気持ちもユニバーサルデザインになっていけばいいと思いました。

人の心と心をつなぐあいさつ

金ケ崎町立第一小学校 6年

いし も た つづ み
石母田 鼓 実



私は今、毎日がけっこう楽しいです。なぜ、毎日が楽しいのか、理由を考えてみました。すると、2つの理由が見つかりました。1つは、6年生の授業が楽しいことです。自分の考えをみんなに話すのが楽しいのです。

もう一つは、いろいろな人とあいさつをするのが楽しいことです。そこで私は、あいさつと人との関わりについて考えてみました。私は、3年生まで、なるべくお年寄りと関わらないようにしてきました。それは、お年寄りと関わると、何だかかんだと時間がかかり、自分がやりたいことに使う時間が減ってしまうような気がしていたからです。

でも、4年生になって、ボランティア委員会の活動で老人ホームを訪問した時から考えが変わりました。私達は、老人ホームで和太鼓の発表をしました。すると、車いすの人も、ベットでねている人もみんな笑顔で喜んでくれました。おじいさんおばあさんの笑顔を見て、とてもうれしくなりました。和太鼓の発表の後は、おじいさん、おばあさんの肩もみをしました。すると、どの人も、

「気持ちいいなあ。」

「ありがとう。」

と言ってくれるのです。私は、お年寄りに関わることを面倒だと思っていたのに、「ありがとう」と言ってもらえるのがどんどん楽しみになりました。

それから私は、何をするとお年寄りが喜んでくれるのかを考えました。けれども、あまり大きなことはできないので、今の私にできることは、「あいさつ」だと思いました。そこで、学校の中だけではなく、地域の人にもできるだけあいさつをするようになりました。その中には、もちろんお年寄りの方もいて、私のあいさつに笑顔でこたえてくれます。

ある日私は、「そういえば、学校の近くのお店のおばあちゃんの顔をしばらく見ていないな。元気かな。」と思い、学校の帰りにお店に寄って、

「さようなら。」

と言ってみました。すると、おばあちゃんはこっちを向いて、にっこり笑って、

「さようなら。気をつけて帰ってね。」

と言ってくれました。その笑顔がうれしくて、今では、毎日のようにお店に寄ってあいさつをしてから帰っています。

私は、老人ホームでの出来事がきっかけで、お年寄りとの関わりに対する考えが変わり、「ありがとう」と言われることのうれしさやあいさつの気持ちよさを学びました。あいさつによって、人の心と心がつながります。そして、ちょっとしたつながりがみんなを笑顔にし、幸せな気持ちにします。これからも私は、あいさつでお年寄りと仲よく関わっていきたいと思います。そして、あいさつの輪が広がって、だれもが笑顔の世の中になることを願います。

寄付の報告

平成28年9月1日から平成28年11月30日までの受付分



○福祉基金

佐藤 トシさま	50,000円
大松澤 武文さま	30,000円
及川 朋則さま	30,000円
高橋 守さま	30,000円
八重柏 厚志さま	30,000円
千田 久耕さま	30,000円
菅原 司さま	30,000円
渡邊 明男さま	20,000円
遠藤 富子さま	30,000円
菊地 薫さま	50,000円
及川 重美さま	3,000円
かみしも結いの会さま	58,635円
千枝重美さま	30,000円

○物品寄付

クレヨンへ
お菓子の詰め合わせ約40名分
カネマン金ヶ崎さま
ヘルパー事業所へ
リハビリパンツ3袋
小野寺 榮さま

○平成28年熊本地震義援金

白糸まちなみ交流館さま
7,506円

○岩手県台風10号大雨等

災害義援金

谷地下自治会さま	100,000円
中村自治会さま	30,000円
清水端自治会さま	30,000円
川目自治会さま	50,000円
瘤木自治会さま	30,000円
永徳寺報徳会さま	36,371円
高橋徳治さま	10,000円
諏訪小路自治会女性部さま	18,500円

10/1~3に実施した赤い羽根街頭募金では、熊本地震義援金へ17,084円、台風10号義援金へ51,250円の募金が寄せられました。ご協力頂いた皆さま、ありがとうございました。

12月のワークステーションふれあい食堂 おすすめメニュー～クリスマスメニュー～

チキンライス258kcal 鶏肉のソテー(ハニーマスタードソース)265kcal
ナポリタン85kcal ポトと茹で卵のサラダ61kcal
果物みかん21kcal 漬物3kcal クリームシチュー132kcal 合計 825kcal



12月20日(火)のワークステーションふれあい食堂&配食サービスのメニューは、チキンライス、鶏肉のソテーハニーマスタードソース、ナポリタン、ポトとゆで卵のサラダ、クリームシチューです。

雪のたよりもちらほら聞こえ、気がつくと、もうすぐクリスマスがやってきますね。

20日のワークステーションふれあい食堂のメニューは、野菜たっぷり、鶏肉、ベーコンなどのタンパク源も取り入れて、お腹も心も満たして、クリスマスの華やいだ料理が楽しめる献立になっています。

限定でショートケーキも付きますので、お早めにいらしてください。

(ワークステーションかねがさき栄養士 小河原)

ふれあい食堂 11:00~14:00 (祝祭日除く)

配食サービス毎週火・金曜のお昼配達 (ワークステーションかねがさき 電話 44-5175)

かいちょうのつぶやき⑨



さとうあつし会長

〜台風10号による被災地
支援活動に参加して〜

金ヶ崎町社会福祉協議会
会長 佐藤 惇

今年、熊本地震や鳥取地震、更に台風10号により岩手県沿岸北部も激甚災害に見舞われました。町民の皆様よりたくさん義援金等をいただいておりますことに感謝とお礼を申し上げます。

台風10号被害が発生して4ヶ月程たちますが、被災者は年末を迎えても心の休まることのない生活が続いていると思います。

社会福祉協議会が、被災者支援ボランティアを募集し、岩泉町で9~11月まで毎月1回支援活動を実施しました。河川の大氾濫により岩泉町各地が被災したのですが、東日本大震災津波被害を思い出させるほどの酷さに驚きました。私は2回参加しましたが、商店の裏庭や農家のビニールハウスの堆積土砂の除去作業を行いました。50cmほどの堆積土砂は、懸命に作業しても全く減らないという状態でした。私達の近隣では、どこでも多くの方が頑張っていました。私と話したお年寄りは、疲れ果てこれからの計画が立たないと話していました。被災された方の気持ちや言葉を聞いてあげたいです。

ボランティア活動に参加いただきました方々に感謝とお礼を申し上げます。復旧活動が長期化しておりますので、今後とも温かいご支援をお願いいたします。

社会福祉法人金ヶ崎町社会福祉協議会 ☎029-4503 岩手県胆沢郡金ヶ崎町西根南羽沢43

☎0197-44-6060 FAX0197-44-6106 ホームページhttp://www.kin-syakyo.jp

この広報誌は、皆様からの会費や共同募金配分金を充てて発行しております。

